

		令和5年度														令和6年度			
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月			
会議日程	部会開催日	3月22日	4月20日	5月7日	5月11日	6月8日	7月13日	8月10日	9月14日	9/17 講演会	10月12日	11月9日	11/19 講演会	12月14日	1月11日	2月8日	3月14日	4月17日	5月9日
	運営協議会開催日																		
1. センターイメージチェンジ事業																企画概要検討			
ウィッシュツリー制作		募集開始	ワークショップ準備	5月7日	制作物の展示			制作物の撤去											
月替わりパネル展示		展示団体募集	抽選・連絡	6月展示	7月展示	8月展示	9月展示	10月展示	11月展示	次年度公募企画検討	募集要項確定	出展団体募集開始	出展団体選定	展示決定団体通知	5月展示	パネル展示に合わせて きる所から実施			
スペース活用プロジェクト																スペース活用アイデア出し	準備	担当していただける企業・団体との働きかけ	
参加体験型ワークショップ																企画提案	内容検討		
2. 市民交流参加事業																			
市民団体				企画概要検討	企画紹介	8/1 担当団体公募	担当団体決定・広報原稿作成		10/1 公募開始	市民公募 講演会	次年度公募企画検討								
企業				日程・内容検討															
学術				企画の概要決定	広報原稿作成	8/15 募集開始	講演準備	9月17日	次年度公募企画検討										
はじめの一步									企画提案	内容検討・次期部会引継資料作成									
「今回の検討課題」		<p><b>1 課題</b></p> <p>議題1 現在進行中の事業の進捗状況について</p> <p>1. センターイメージチェンジ事業 市民活動パネル展示5月分展示状況確認 追加募集・応募状況報告(小山)</p> <p>議題2 今後の事業の準備スケジュールについて</p> <p>1. センターイメージチェンジ事業 ローカルテンの改修についての問合せと回答 → サポートセンター運営協議会としてクラウドファンディングをかけることを検討するか?</p> <p>2. 市民交流参加事業</p> <p>2-1 夏休み親子ワークショップ企画について ワークショップ企画案をベースに具体的な内容を検討</p> <p>2-2 市民活動はじめの一步ワークショップ(南山委員) 市民活動フェアの準備状況を谷谷から報告し、はじめの一步ワークショップの内容やスケジュールについて検討する。</p> <p>以上</p>																	
「前回の検討結果」		<p><b>1 1 報告課題1</b> 現在進行中の事業の進捗状況について</p> <p>1. センターイメージチェンジ事業 配布資料に基づき、市民活動パネル展示の出展状況を確認した。8月分は3団体、7月、9月分について各1団体ずつの追加出展募集を開始した。いずれも先着順として、出展団体数が予定数に達した段階で募集が締め切られることが報告された。(小山)</p> <p>議題2 今後の事業の準備スケジュールについて</p> <p>1. センターイメージチェンジ事業 実際のサポートセンター内を視察してリニューアルした部分について説明を受けた。西側スペースの有効活用とキッズスペースの活用については、今後も改善が必要である。</p> <p>2. 市民交流参加事業</p> <p>2-1 夏休み親子ワークショップ企画について 矢田課長からシモジマと電話での打ち合わせについて報告があった。 今回は部会としての企画の内容について、提案している3つの案を中心に検討し、こちらとしての企画の概要を下記のように定めた。</p> <p>開催日 7月後半(説明会)と8月後半(ワークショップ)の2回 開催時間(予定) 13:30~15:30(予定) 対象 小学生(3年生以上を想定)と保護者 定員 30~40名 参加費 無料 参加者決定方法 先着順 参加申込み受付期間 6月一杯 当日の運営スタッフ 説明会(谷谷) ワークショップ(担当者未定) ワークショップの内容によってシモジマに資材の提供をお願いする 説明会の目的 本企画の趣旨や内容、市民団体情報の収集方法の紹介や市民活動サポートセンター・市民力発見サイトの利用方法などを紹介する。 また、中学生・高校生が参加している夏休みボランティア体験の受け入れ団体の情報なども紹介して、市内で活動する市民団体との接点を紹介する。各団体への取材の必要があれば、市民協働課や市民活動サポートセンターを通じて各団体と参加者の間をつなぐ。 ワークショップの目的 自分の住んでいる地域で活動する団体を学び、その活動を紹介する"なにか"を作ってみよう。 二次元的な新聞に限らず、立体的な制作物や地図上に貼り付けるポップのようなものでもOK 取材した内容を自分だけでなく、それを見た第三者にも分かり易く発信できるものを作ってみよう 具体的なゴール 制作した子供新聞は学校などに提出後、可能であれば、12月の市民活動フェアの期間に集めてパネルにまとめて展示する。 立体的な制作物や地域活動紹介マップのようなものが作れば、これも12月の市民活動フェアで展示する。 説明会にはできれば親子で参加してもらい、親子で夏休みの間に地域で活動する市民活動の取材をしてもらうことで、市民活動への興味・関心を持ってもらう。 ワークショップでは、講師(相澤ななさん)を想定しているの指導の下、調べてきた団体の情報を見る人に対して一番伝えやすい形の制作物を作成することを目指す。 ワークショップの講師と内容については今後検討する。 制作物は様々なバリエーションが想定されるため、シモジマが販売している商品の中で、資材として協力していただけるものがあれば、資材協力を求める。 2-2 市民活動はじめの一步ワークショップ(南山委員) 市民活動フェアと連動させることによって相乗効果が期待される。 フェアの準備状況も踏まえてスケジュールを下記のように修正した。</p> <p>&lt;スケジュール案&gt;</p> <p>6~7月 フェア実行委員会の議論と並行して新年度市民参加部会企画の詳細を検討 8月中 詳細に内容検討 9月上旬 広報ふなばし用原稿提出 11月中旬 市民活動フェアと共に広報ふなばしで告知、参加者募集 (11月には公募型交流会が予定されている) 12月 市民活動フェア内の企画への参加を第1回とする。 内容: "地域でつながる活動の始め方"等の内容が含まれる講演会 想定されている講師(案): 和田義人氏(千葉商科大学人間社会学部教授) 講演参加後、フェア出展団体とブースで交流し、興味ある団体の体験プログラムがあれば参加を促す。 1月 or 2月 WS② ちょっと先行くセンパイの話を聞いてみよう! 内容: 実際に身近な問題意識から市民活動をしている同世代の話を聞く 想定されている講師(案): 船橋ババ会代表 高橋利明氏・ワーキングマザーの会 和田義人氏の講演と船橋ババ会代表 高橋利明氏の講演はどちらかが市民活動フェア、どちらかが1月のワークショップにできればよい。 またワークショップでは今年度市民協働課の補助金を獲得したぐると交換会のメンバーなどにも参加・協力していただけるような形を模索したい。</p> <p>2 or 3月 WS③ めざせ地域活動発表会 最後の発表会でのようなOutputを求めるかについて、今後検討する。 → 4月から新規登録・活動団体として動き出せる団体ができる</p>																	

第7回 全体会の協議内容

<p>2024/3/28市民活動サポートセンター運営協議会 市民参加部会質疑応答協議会メモ&amp;要検討課題</p> <p>&lt;質疑応答協議会メモ&gt;</p> <p>意見: 地域課題に取り組み市民団体の紹介POPを作成する企画は良いと考える。 このような企画を市民活動フェア内で実施すると一般市民をより巻き込めるのではないかと。【田久保委員】</p> <p>回答: 次年度は参加体験型のフェアを目指している。 参加体験型のフェアにふさわしいような企画を取り込んでいきたいと考えている。【谷谷委員】</p> <p>質問: パネル展示を毎月実施しているが、パネル展示期間が終了したら団体を集め、振り返り会を企画していただきたい。【斎藤委員】</p> <p>回答: 団体同士で交流したいという声はアンケートから分かっているため、交流を持つ機会をつくることは必要だと感じる。【事務局】</p> <p>意見: 展示パネルを活用し、パネルディスカッションをするのも良いと考える。【廣田委員】</p> <p>回答: 市民参加部会で検討する。</p> <p>今回の募集では出展団体に事前案内できていないため、参加必須とはできないだろう。【谷谷委員】</p> <p>意見: パネル展示はエスカレーターホールで展示できると良い。【谷山委員】</p> <p>回答: エスカレーターホールは予約制のため、予約の空き状況を確認の上案内で検討する。【事務局】</p> <p>意見: 総合窓口センターに来た方がセンター内に散歩に来てもらえるような外向きなアプローチが必要ではないかと。【森委員】</p> <p>質問: 夏休み親子ワークショップはどのように市民活動に関連付けることを検討しているか。【橋本委員】</p> <p>回答: 資料7部会報告書に記載のとおり、船橋に関する子供新聞づくりや市民活動団体の紹介POPづくり、活動地域の紹介マップづくり等の市民活動に紐づいた制作系ワークショップを検討している。【谷谷委員】</p>
--

前々回検討事項

<p><b>1 報告</b></p> <p>1. センターイメージチェンジ事業 配布された市民活動パネル展示参加団体一覧に基づき、活動パネル展示の申し込み状況を確認し、すべての月にについて、第一希望の団体の出展を決定した。8月については、追加募集を行うこととなった。8月分の追加出展団体には6月中旬に決定報告を送りたいので、今回の出展団体報告に合わせて、追加募集開始の連絡を発信することとなった。(5月分には締め切り)</p> <p>企業出展についても、7月以降の出展企業を随時受け付けることを案内することとなった。</p> <p>2 今後の事業の準備スケジュールについて</p> <p>2-1 広がったサポートセンターの活用について 市民活動サポートセンター見取り図と先月の議事メモなどをもとに、このスペースの活用方法について、検討した。 新レイアウトは4月1日からの運用を目指す。</p> <p>2-2 市民交流参加事業</p> <p>2-2-1 夏休み親子ワークショップ企画について 未来アートワークショップ企画書をベースに夏休みに実施することを想定したワークショップの概要について、シモジマの担当者と協議するベースを作成することを想定して議論した。次年度の企画にはこれまで以上に"市民活動につながる要素"が必要ということになり、そうした要素をこのワークショップ企画にどのように盛り込むかを中心に対象者別に3つの案を検討した。</p> <p>開催日 令和5年 8月中 開催時間(予定) 13:30~15:30 定員 30~40名 参加費 無料 参加者決定方法 先着順 参加申込み受付期間 6月中旬から7月末締め切り 当日の運営スタッフ シモジマ・市民団体</p> <p>2-2-2 市民活動はじめの一步ワークショップ(南山委員) 市民活動スタートアップ応援企画ver2に基づいて、南山さんから概要が説明された。 夏休みワークショップや市民活動フェアなどの行事予定も考慮すると下記のようなスケジュールが妥当ではないかということになった。</p> <p>&lt;スケジュール案&gt;</p> <p>6~7月 フェア実行委員会の議論と並行して新年度市民参加部会企画の詳細を検討、講師選定 8月中 詳細に内容検討 9月上旬 広報ふなばし用原稿提出 11月中旬 市民活動フェアと共に広報ふなばしで告知、参加者募集 12月 市民活動フェア内の企画への参加を第1回とする。 内容: "地域でつながる活動の始め方"等の内容が含まれる講演会 想定されている講師(案): 和田義人氏(千葉商科大学人間社会学部教授) 1月 WS② ちょっと先行くセンパイの話を聞いてみよう! 内容: 実際に身近な問題意識から市民活動をしている同世代の話を聞く 想定されている講師(案): 船橋ババ会代表 高橋利明氏・ワーキングマザーの会 2 or 3月 WS③ めざせ地域活動発表会 → 4月から新規登録・活動団体として動き出せる団体ができることを目指す。 以上</p>
--